

2020年7月20日

栃木県知事  
福田 富一 殿

〒320-0017 宇都宮市戸祭台 29-17  
栃木県保険医協会 会長 長尾 月夫  
TEL 028-622-0083 FAX 028-627-0648

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する要望書

貴職におかれましては、県民医療の確保のためご尽力しておられることに敬意を表します。

栃木県保険医協会は、会員医療機関754件に「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート」を実施したところ、7月15日までに医科119件（28.0%）、歯科58件（17.6%）の医療機関より回答を得ました。

集計の結果、前年と今年の5月を比較して医科103件（86.6%）、歯科53件（91.4%）で外来患者が減少、医科99件（83.2%）、歯科50件（86.2%）の医療機関で保険診療収入が減少していることが明らかとなりました。

また、患者と保険診療収入が3割減少との回答が医科・歯科ともに30%を超えて、歯科においては、患者が3割減少したとの医療機関が45%超となりました。医科・歯科それぞれの医療機関では十分な感染防止対策を実施しており、安心して受診できる旨の情報発信が必要です。

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた第2次補正予算では、医療・福祉の提供体制を確保するため2兆7179億円の予算がとられました。しかし、喫緊の課題である医療機関への支援（減収補填）は見送られました。このコロナ禍で2割を超える減収となっている医療機関は、存続が危ぶまれるほどの大打撃となっており、速やかなる財政支援が必要です。

この状況が続けば、多くのかかりつけ医療機関が閉院に追い込まれ、第2波への備えが困難になります。また、患者の慢性疾患の管理にも重大な影響を及ぼすことが懸念されます。

地域医療を守り、医療崩壊を防ぐためにも、一層の支援が実施されるよう下記の事項を強く要望致します。

記

### 【要望項目】

1. 医療機関の保険診療減収分について、公費による補填を行うよう国に対して要請すること。
2. 県民の健康保持のため、県民に対して医療機関への適切な受診を訴えること。
3. 医療機関・介護事業所におけるクラスター発生を防ぐため、希望する事業所の医療・介護従事者に対して公費負担でPCR検査を実施すること。
4. アルコール、衛生材料、PPE等について、県の備蓄を増やすとともに、これらが不足している医療機関に対して無償で配布すること。

以上